



み つ は

令和7年 12月 10日
学校だより NO.34
笠間市立友部中学校

第3学年 進路決定に向けた大切な時期

令和7年も残すところあと3週間となり、冬季休業日までわずかとなりました。現在、インフルエンザ等の感染症の罹患者も少なく、学級閉鎖をしているところはありません。感染症の予防については、学校でも引き続き指導していきますので、ご家庭におきましても規則正しい生活、睡眠時間の確保、うがい手洗いの励行などの声掛けをお願いします。

さて、3年生にとっては、高等学校への進学を含めた進路の決定に向け、学習に一生懸命取り組んでいることと思います。また、高等学校の受験に向けた面接練習も開始され、本格的な受験シーズンの到来となりました。進路決定にむけては、自分の特技や特性を生かし、本人が納得するものとなるように学校でも支援をしてまいります。3年生の皆さんは、インフルエンザ等の感染症の予防をしっかりと行い、心身ともに健康な状態で1日1日を大切に過ごしてもらいたいと思います。



感染症の予防（教室掲示物）

第2学年 社会的孤立・孤独の正しい理解と予防教育(e-BOCCHI)を実施

孤立していても心身の不調につながるような孤独感を強めないための認知、ほどよい距離感の対人関係のつくり方、一人であることよさや一人を楽しめる知恵などを学ぶことを目的として、2年生が3回（3時間授業）にわたって学習をしています。学習を進めるにあたっては、筑波大学医学医療系所属の中澤先生と金子先生を講師としてお迎えしています。中澤先生と金子先生には、1学級を選択し、その学級で学習の流れを確認、その後、学級担任が同様に指導をするという授業を3回（3時間）行います。第1回目の授業は、12月3日（水）でした。1回目の内容は、「ひとりぼっちについて考え、ひとりぼっちでも前向きな考え方を、いざとなったら助けを求めること」をグループによる話し合いや視聴覚教材を活用しながら学びました。第2回目は12月9日、第3回目は12月16日に実施します。



3年生 大活躍「全国大会への出場」を紹介します

自分の特技、得意とする運動（スポーツ）、芸術・文化を継続している3年生がたくさんいます。

今回は、12月に開催している全国大会への出場を決め、活躍をしている3年生の生徒2名を紹介します。

1名は、高円宮妃杯 JFA 第30回全日本U-15女子サッカー選手権大会に出場している鈴木さんです。

12月10日現在、大会期間中で、ベスト8に進出をしています。試合に出場し得点をするなど活躍しています。13日（土）には、準々決勝戦となります。悔いの残らないよう全力でプレーしてください。

もう1名は、JOC ジュニアオリンピックカップ第39回全国都道府県対抗中学女子バレーボール大会に茨城県代表として出場する荒川さんです。荒川さんは、セッターとしてチームに貢献をしています。全国大会は、12月25日（木）から28日（日）まで大阪市で行われます。大会当日の活躍を期待しています。

